

わかちあいプロジェクトに ご支援・ご協力 いただいている皆さまへ

昨年度も多くの方のご協力をいただき、古着支援、難民支援、自立支援、フェアトレードの事業を実施することができました。皆さまのあたたかいご支援ご協力に感謝申し上げます。

1993年より続けてきました難民キャンプへの古着の送付は昨年度をもって終了いたしました。今年度からはご寄付いただく古着は国内外で再利用またはリサイクルし、お寄せいただく募金はウクライナやケニアの難民支援、その他当団体の活動のために使わせていただきます。今後とも皆さまのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2022年古着募集要項

1：募集期間

2022年7月15日(金)～30日(土)

※この期間に必ず到着するようにお送りください。

2：古着の種類

一夏服、冬服、大人用、子供用の各種古着

(Tシャツ、Yシャツ、トレーナー、ジャージ、ズボン、スカート、ジーンズ、背広・スーツ、カーディガン、セーター、コートなど。和服や毛皮等も受付可。)

一布・皮革製品

(ベルト、ネクタイ、帽子、ハンカチ、靴下、ぬいぐるみ、バッグ、タオル、シャツなど。)

※受付不可なもの：上記の中で泥、油、ペンキなどで汚れたものは受付できません。靴、会社の作業着や制服等、学校の制服やジャージ類は受付対象外となります。

3：送付方法と送り先

衣類はきれいに洗濯して畳んだものを段ボール箱に入れて、以下の宛先までお送りください。

※配送にかかる送料はご負担ください。

※古着の直接持ち込みは受付できませんのでご注意ください。

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦2-8-6
ナカノ株式会社エコムナ横浜工場「わかちあいプロジェクト係」
Tel.045-701-6263

※事業に関する問い合わせは、
わかちあいプロジェクト (Tel. 03-3634-7809) まで

4：古着の使い道

お寄せいただいた古着は、横浜の古着リサイクル専門業者のナカノ株式会社により、丁寧に仕分けされ、再利用またはリサイクルされます。国内、海外で古着として販売されたり、工場ですうエスに加工され、車の中敷のフェルトや軍手をつくる糸などとして活用されます。

5：募金のお願い

古着1箱あたり、1,000円の募金を送金お願いします。

※集まった募金は、世界ルーテル連盟を介しウクライナ避難者の支援、ケニアのカクマ難民キャンプへの支援、その他当団体の活動のために使わせていただきます。

※募金は衣類と同梱しないようお願いいたします。

郵便振替口座 一般社団法人わかちあいプロジェクト募金
00120-4-386390
通信欄に「古着募金」と記入

クレジットカード

当団体HPよりカード決済が可能です。

▶<https://www.wakachiai.com/cloths/>



わかちあいプロジェクト

わかちあい プロジェクト NEWS No. 37

2022 April



信じられないことが起こっています。 私たちにとって何が一番大切なのでしょうか。

松木 傑 わかちあいプロジェクト代表

スロバキアとウクライナの国境で、ウクライナの避難民の家族がバスに乗ってスロバキア内陸部に向かいます。

私は聖書の以下の箇所を思い出しました。「イエスに触れていただくために、人々が子供たちを連れて来た。弟子たちはこの人々を叱った。しかし、イエスはこれを見て憤り、弟子たちに言われた。子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。そして、子供たちを抱き上げ、手を置いて祝福された。」

一人の子供、一人の人格が一番大切であるとおっしゃっているのだと思います。はたして今の世界で一人の人格、一人の人間としての尊厳がどれだけ大切にされているのでしょうか。人は一人で生きていくことはできません。ともに生きるそれぞれの人の人格を大切にすることが、今起こっていることに対する私たちの戦いでもあります。

私たちが価値の中心におく、自由、公平、民主主義も一人の人格を尊重することなく成り立ちません。



写真提供：
世界ルーテル連盟
2022年3月11日
©Vyšné Nemecké

わかちあいプロジェクトについて

フェアトレードや難民支援活動を通して、開発途上国の人々を支える国際協力NGOです。私たちは1992年にドイツを訪問した際にフェアトレードのしくみを知り、日本で最初の国際フェアトレード認証コーヒー(カフェ・ママ)の販売を開始しました。世界中から製品を取り寄せ、国内では最も多くの国際フェアトレード認証製品を取り扱っており、様々な地域の生産者の自立につなげています。また同じ頃、アフリカ・ソマリア難民救援をきっかけに継続的に難民支援活動に取り組み、現在までアジアやアフリカ、中東の難民生活を余儀なくされる方たちを支援しています。

- ① 国際フェアトレード認証製品の輸入、商品開発、販売
- ② 難民支援活動(古着支援、緊急支援)
- ③ 途上国の自立支援

募金のご協力をお願いします

- ① 一般募金 (わかちあいプロジェクトの活動全般をサポート)
- ② 古着支援募金
- ③ 難民支援募金
- ④ ミャンマー支援募金 (避難民の支援、奨学金)
- ⑤ 南スーダン支援募金 (Peace Palette活動支援)

募金の送付先 郵便振替口座
一般社団法人わかちあいプロジェクト募金
00120-4-386390

※通信欄に上記募金の種類をご記入ください

※振替用紙にご住所の明記がない場合や不鮮明であった場合、電信振替で住所が非表示の場合には、報告書等のお知らせをお送りすることができませんのでご注意ください。

わかちあいプロジェクトNEWS No.37

2022 April (年1回発行)

編集 一般社団法人わかちあいプロジェクト

デザイン Design Convivia

発行元 一般社団法人わかちあいプロジェクト
135-0001 東京都江東区毛利2-2-8誠和ビル
TEL：03-3634-7809 FAX：03-3634-7808



わかちあいプロジェクトの
フェアトレードオンラインショップ
「Fair Select (フェアセレクト)」

お買い物で途上国の生産者の自立を支える
フェアトレードをぜひご利用ください。

フェアセレクト

検索



ミャンマー軍政下、苦しむ人々



ミャー・リー カヤバプテスト教会

カヤー州とカレンニー州では、2021年2月20日から2022年3月22日までの間に合計170000人以上が軍の攻撃から避難し、州内や他の州や地域の避難所で生活を余儀なくされています。避難民のほとんどは村からすぐに逃げなければならず、少量の食料と家庭用品しか持ってこれませんでした。そのため国内避難民 (IDPS) のほとんどは、食料、薬、飲料水へのアクセスが制限された仮設キャンプに住んでいます。人々がこのような状況下でも助け合っていることは非常にありがたいことです。しかし現在、人道支援は以前より少なく、2021年の初期段階とくらべて援助は減少しています。

軍事攻撃の中で240人が死亡し、約291人が逮捕され、約179人が負傷しました。戦闘によって宗教的な建物を含む約582の家が破壊されています。教育については、約2623人の教育スタッフがCDM (市民的不服従運動Civil disobedience movementの略号) に参加しています。ディーモーソエの西部のキャンプの1つで、2021年9月から2022年1月22日まで学校が開きました。しかし、空爆が発生し、人々や子供たちが学校に行くことを恐れているため、今は閉鎖しなければなりません。

1. 一部の難民キャンプはすでに食糧と水不足に直面しています。
2. 気候変動と進行中の世界的大流行のコロナの拡大の両方の結果として悪化する栄養の確保のため、また、その保護のためより多くの医薬品が必要です。
3. 多くの防水シートやテントはどこにでも必要であり、何千人もの難民の家です。
4. キャンプを絶えず移転するため、プロパンガスの調達国内避難民にとってより重要になっています。
5. 子供と老人は健康的な食事を必要としています。
6. 子供たちは彼らのための教育プログラムを必要としています。

松木 傑 わかちあいプロジェクト代表

ミャー・リーさんとは栃木にありませんアジア学院で最初にお会いしました。ミャンマーで教育プロジェクトを行いたいとの思いでいたところミャーさんを紹介されました。その後、子供たちへの奨学金の働きと、コーヒーのプロジェクトを継続して行っています。昨年の奨学金の資金は4月に送金しましたが、ミャンマー国軍クーデターの影響で銀行口座が凍結されておられないとのことで、人々への支援の資金は別ルートで送り、支援物資の配布などに使われています。どうかご支援の方よろしく申し上げます。

南スーダン スポーツによる平和構築の活動

デビット・ヴィンセント ピースパレット共同設立者

スポーツには世界を変える力があります。それは刺激する力を持ち、人々を団結させる力を持っています。ピースパレットは、発足以来、わかちあいプロジェクトの継続的な支援を受けて、平和と社会の結束を育むために若者をつなげるスポーツ活動を行ってきました。この毎年恒例のイベントは、5つの州の若者たちにとって毎年最も待ち望まれる活動となっています。パンデミックの間、わかちあいプロジェクトが支援してきた平和と和解のバスケットボールトーナメントの開催の要請が何度かありましたが、パンデミックのためできませんでした。現在、すべての人道組織は、厳格なコロナの規制下で活動を再開しています。

2021年12月、ピースパレットは地域コミュニティと提携し、南スーダンのトゥイク州で地域オリンピックを開催しました。若者と地域の指導者たちは、このイベントを復活させたいという願望を表明し、ピースパレットを含むいくつかの組織にその復活を支援するよう呼びかけていました。私たちのフィールドコーディネーターであるアジンさんは、2021年12月のトーナメントを10年ぶりに計画し組織委員会の委員に選ばれました。イベントは大成功でした。イベント開催者の一人、副大統領のフセイン・アブデ

ルバギも出席しました。このイベントは、トゥイク州の人々の間で失われた団結を再構築しました。首都ジュバからイベントに参加した長老と高官は、このイベントを継続する必要性を強調し、すべての人道的パートナーにそれを支援するよう呼びかけました。このイベントの計画には、アジンさんの尽力によりピースパレットが重要な役割を果たしました。そのため、2023年初頭に予定されている

次のイベントをサポートするための資金調達を支援するよう求められています。ピースパレットはわかちあいプロジェクトが支援した平和と和解のバスケットボールユニシアチブを引き続き主催したいと考えています。Sports for Peaceイベントに参加しているトゥイク州コミュニティとその近隣の人々を代表して、わかちあいプロジェクトの継続的な支援に感謝したいと思います。



2021年古着支援報告

2021年7月1日 (木) ~ 10日 (土) の10日間に日本各地から4314箱の古着が寄せられました。皆様、ご協力ありがとうございました。集まった古着は今回より横浜のナカノ株式会社の倉庫で段ボール箱から出して圧縮梱包してもらいました。8月に24トンコンテナに詰

め、ケニアのモンバサ港経由で南スーダンへ届けました。現地に届いた古着は、元カクマ難民キャンプの難民で、現在南スーダンで学校運営などの教育支援を行うバレンチノの主導の元で活用されています。詳しい報告は情報が届き次第お知らせ致します。

